

崎本 広美 議員
役場移転

協議に関係なく進める考えはあるか

整合性を図りながら進める

質問(議員) 連続立体交差事業や移転補償に関係なく役場移転を進める考えはあるか。
答弁(町長) 事業の進捗や県からの県海田庁舎跡地の払い下げ、庁舎の整備手法について十分整合性を図りながら進めていく。

Q 循環バスの三迫地区運行延伸は
A 関係機関と協議する
質問(議員) 循環バスのサービス改善が解決されず、問題提起から足掛け10年。課題解決に向けた対策はどうなっているのか。
答弁(町長) 町道6号線の整備状況により関係機関と協議する。

その他の質問 ●スポーツ選手育成のグラウンド整備を



早期移転を！



子どもの笑顔は宝物

西山 勝子 議員
不妊治療

助成制度の拡充を

国の制度に上乗せして助成する

質問(議員) 不妊で悩む夫婦を支援するため、厚生労働省は不妊治療の助成を拡充した。町で上乗せの助成を検討してはどうか。
答弁(町長) 平成28年度から国の制度に上乗せして、初回治療の助成額の増額と男性不妊治療の助成をする。

Q 下水道事業の企業会計移行時期
質問(議員) 国は下水道事業会計は企業会計にと指針を出している。移行する時期は。
答弁(町長) 財政収支見直しを見直し、移行時期を見極める。
Q 水道使用料が減収する中、資本費の何パーセントを考えているのか
A 使用料は資本費の34パーセントを賄う見込みである

岡田 良訓 議員
奨学金

町独自制度の創設を

考えていない

質問(議員) 日本の貧困率が高いなか、親の貧困が子どもに受け継がれる事がないように、進学を断たれないよう子育てを進めるべきだが、町として無利子の奨学金制度を創設してはどうか。
答弁(町長) 経済的理由などで修学が困難な学生に対しては公的な奨学金制度があるので、町として新たに奨学金制度の創設は考えていない。

Q TPP協定の影響は

A 把握に努める

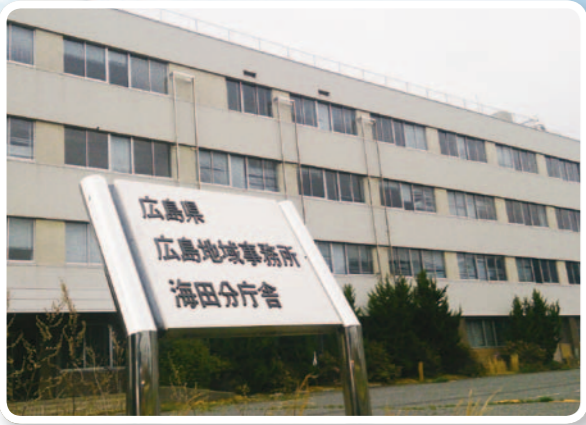
質問(議員) 生活に直結する医療や年金、町内企業に対する影響を調査すべきではないか。
答弁(町長) 広島安芸商工会などの関係機関と連携を図りながら、可能な限り影響の把握に努める。

その他の質問 ●消費税増税反対 ●海田町の子育て対策

【日本の国民皆保険制度の特徴】

- ① 国民全員を公的医療保険で保障。
- ② 医療機関を自由に選べる。(フリーアクセス)
- ③ 安い医療費で高度な医療。
- ④ 社会保険方式を基本としつつ、皆保険を維持するため、公費を投入。

皆保険制度を守れ



町長が確約しました

宗像 啓之 議員
庁舎移転問題

明確な意思表示を

広島県海田庁舎跡地へ移転する

質問(議員) 庁舎の移転について町長は、選挙で広島県海田庁舎跡地を移転先にするのを公約にして当選されたが、前回の定例会でも正式に表明していない。町のトップとして正式に表明すべきではないか。
答弁(町長) 広島県海田庁舎跡地への移転を確約する。

Q 外郭団体の町有施設の年間使用について年度当初に使用調整を
A 今後調整をする

その他の質問 ●個人情報と郵送物の取り扱い